

★参院選挙・もう一つの大切な選択

―平和と弱者を守る選択を―

◆今月二十九日は参議院の選挙日です。年金、格差、教育の問題・・・どれも大切な問題です。しかし、もう一つの大切な選択を忘れていませんか。

★隠れた選択肢 ― 平和・弱者

◆今度の選挙の大きな争点は年金問題だと言われています。五千万件にもぼる不明な年金。国民は大きな不安と怒りに陥れられています。

◆しかし、忘れてはならない選択があります。それは、平和と弱者を守る政策がきちんと入っているかどうかということです。

★国会騒動中も「集団的自衛権」は検討継続！

◆年金問題など、重要法案の強行採決の連発で大荒れの国会会期中にも関わらず、政府有識者会議で検討されていた問題がありました。それは憲法を変えなくとも戦争ができるようにする集団的自衛権行使の検討です。

◆超多忙の会期中にもかかわらず安倍総理はこの会議に出席し、会議は集団的自衛権行使容認の第一回の結論を出しました。

★戦争になったら年金も弱者もありません

◆皆さん、年金も大事です。格差問題も大事です。しかし、もし戦争になったら、そのようなものはすべて吹っ飛んでしまいます。平和あつての幸せな生活なのです。

★「郵政選挙」の二の舞はごめんです

◆二〇〇五年、小泉政権は「郵政民営化」の一点を問う選挙で大勝しました。しかし、国民はそのほかの国の重要事項は信任した訳ではありませんでした。

◆ところがその後安倍政権は数に頼んで、教育基本法、国民投票法、イラク派兵継続法など日本の平和や将来に関わる法案をみな通してしまいました。そして今回、会期がまだあるのに審議をすっ飛ばしての強行採決の連発でした。

◆私たちは、特定の政党を支持しているわけではありませんが、どうか今回の選挙は、日本の平和、そして弱い者を守ろうとしている政党なのか、人物なのかよく見極めて選択しましょう。郵政選挙の二の舞はもうごめんです。

二〇〇七年七月八日(日) 第四八五回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

●浜松市民の皆さん、こんにちには。歩き続けて四〇年。ただいま、「浜松市憲法を守る会」の第四八五回の平和行進を行っています。

●ただいま、日本の国は参議院選挙で浮き足立っています。今回の争点は、年金問題だと言われております。

●年金、格差問題、増税、教育問題、どれも生活に直結する大変重要な問題です。しかし、ちよつと冷静に立ち止まってみてください。それ以外に、私たちの将来の生活を左右する大事な問題はないのでしょうか。

●それは、平和の問題です。

先の国会騒動中、超多忙にもかかわらず安倍総理が出席して政府有識者会議で真剣に検討されていた問題がありました。それは、憲法を変えなくても戦争ができるようにする「集団的自衛権行使」の検討でした。

●そして第一回目の答えを出しました。

「憲法を変えなくとも、戦争ができる」という答えを出したのです。

●こんな、国民生活を揺るがすような問題山積の時に、戦争のできる国への準備は着々と進められているのです。

●みなさん、年金の問題も格差社会の問題も大変重要です。しかし、もしこの国が戦争になったら、そんなものはすべて吹っ飛んでしまいます。戦死者がでて、家も焼かれ、経済は破綻し、戦争に役立たない弱い者は置き去りになります。

●私たちは、特定の政党を支持しているわけではありません。

しかし、今回の選挙は、日本の平和そして弱い者を守ろうとしている政党なのか、人物なのかよく見極めて選択しましょう。郵政選挙の二の舞はもうたくさんです。

●詳しくは、今お配りのビラをどうぞお読みください。